

## (6) 緑・公園・オープンスペース

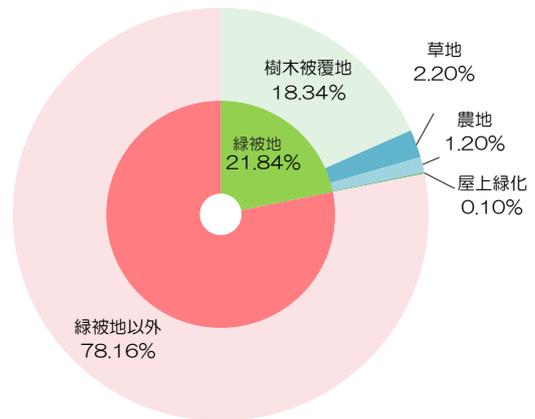
### ① 緑地、公園、オープンスペースの充足状況

#### 《緑地》

- ・平成 19 年度杉並区みどりの実態調査によると、対象地区の緑被地は 44.04ha、緑被率は 16.91%となっており、杉並区全体の緑被率 21.84%に対し、やや少ない割合となっている。
- ・町丁目別にみると、最も緑被率が高いのは、荻窪団地一帯及び大田黒公園を含む荻窪三丁目(33.81%)で、荻窪駅に隣接する荻窪五丁目(6%)及び上荻一丁目(6.51%)は緑被率が低くなっており、全体的には荻窪駅の北側の緑被地が不足している。
- ・緑被地の分布状況をみると、地区内の主な緑被地は戸建て住宅における樹木被覆地となっており、荻窪駅周辺及び青梅街道や環状 8 号線沿道には緑被地が少ない。
- ・平成 14 年度調査と平成 19 年度調査における緑被地の面積を比較すると、天沼地区以外の地区で減少傾向が見られる。
- ・「杉並区みどりの基本計画」(平成 22 年 5 月)においては緑被率の目標を 25%としており、対象地区はこれを下回っている。

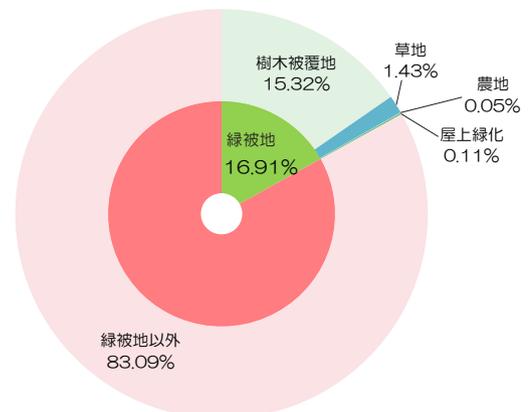
【杉並区の緑被地の状況】

		面積 (ha)	構成比 (%)
緑被地	樹木被覆地	623.95	18.34
	草地	74.73	2.20
	農地	40.83	1.20
	屋上緑化	3.50	0.10
	合計	743.01	21.84
緑被地以外		2658.99	78.16
区全体		3,402.00	100.00



【対象地区の緑被地の状況】

		面積 (ha)	構成比 (%)
緑被地	樹木被覆地	39.92	15.32
	草地	3.72	1.43
	農地	0.12	0.05
	屋上緑化	0.28	0.11
	合計	44.04	16.91
緑被地以外		216.46	83.09
対象地区全体		260.50	100.00



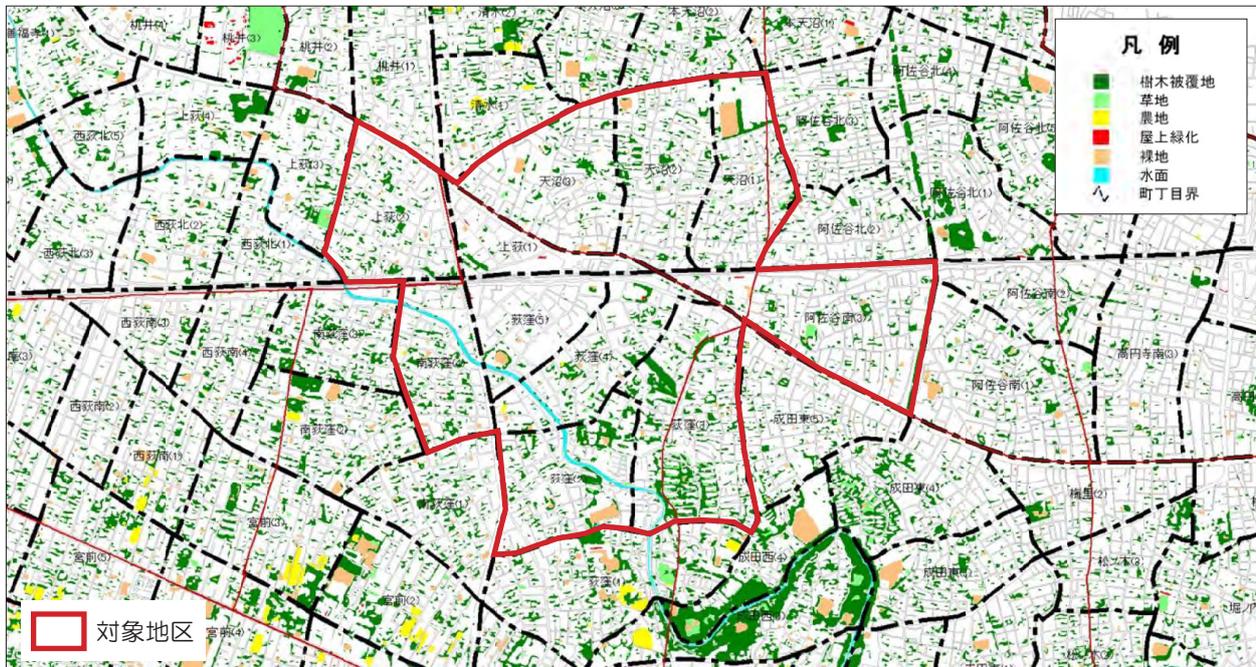
※数値は平成 19 年度杉並区みどりの実態調査を引用

【町目別の緑被地の状況】

	面積 (ha)	平成 19 年度									
		樹木被覆地 (ha)	草地 (ha)	農地 (ha)	屋上緑化 (ha)	緑被地 (ha)	樹木被覆 地率 (%)	草地率 (%)	農地率 (%)	屋上緑化 率 (%)	緑被率 (%)
上萩 1 丁目	15.50	0.94	0.02	0.00	0.05	1.01	6.06	0.13	0.00	0.32	6.51
上萩 2 丁目	26.40	3.70	0.11	0.00	0.02	3.83	14.02	0.42	0.00	0.08	14.52
天沼 1 丁目	22.10	3.28	0.27	0.00	0.00	3.55	14.84	1.22	0.00	0.00	16.06
天沼 2 丁目	25.60	3.71	0.19	0.00	0.01	3.91	14.49	0.74	0.00	0.04	15.27
天沼 3 丁目	26.40	2.98	0.20	0.00	0.02	3.20	11.29	0.76	0.00	0.08	12.13
荻窪 2 丁目	25.00	4.59	0.37	0.00	0.02	4.98	18.36	1.48	0.00	0.08	19.92
荻窪 3 丁目	29.90	8.51	1.60	0.00	0.00	10.11	28.46	5.35	0.00	0.00	33.81
荻窪 4 丁目	21.30	3.48	0.26	0.07	0.02	3.83	16.34	1.22	0.33	0.09	17.98
荻窪 5 丁目	19.00	1.05	0.04	0.00	0.05	1.14	5.53	0.21	0.00	0.26	6.00
南荻窪 4 丁目	16.30	3.25	0.32	0.05	0.03	3.65	16.67	1.64	0.26	0.15	18.72
阿佐谷南 3 丁目	33.00	4.43	0.34	0.00	0.06	4.83	13.42	1.03	0.00	0.18	14.63
対象地区 (合計)	260.50	39.92	3.72	0.12	0.28	44.04	15.32	1.43	0.05	0.11	16.91
杉並区	3402.00	623.95	74.73	40.83	3.50	743.01	18.34	2.20	1.20	0.10	21.84

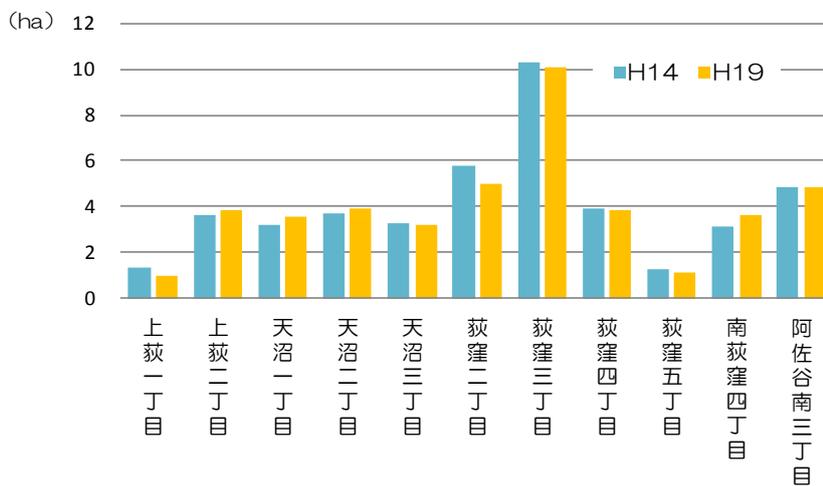
※平成 19 年度杉並区みどりの実態調査より抜粋

【緑被地の分布状況】



※平成 19 年度杉並区みどりの実態調査より抜粋

【緑被地面積の推移】



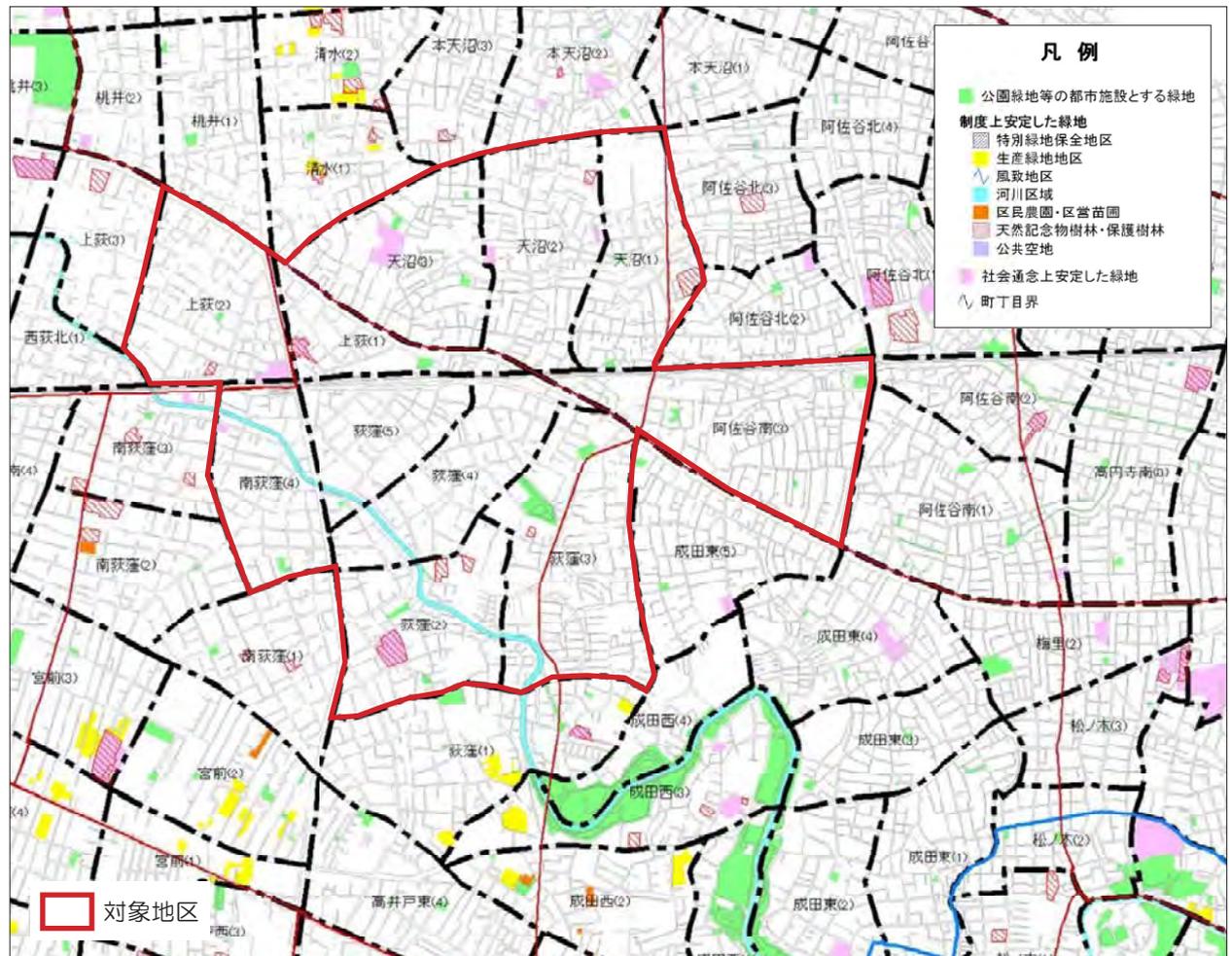
※平成 19 年度杉並区みどりの実態調査より作成

- ・平成 19 年度杉並区みどりの実態調査では、右の分類に基づき緑地の調査をおこなっている。
- ・対象地区内では、比較的永続性が見込める緑地（都市施設とする緑地や制度上安定した緑地、社会通念上安定した緑地）として、公園緑地や善福寺川、社寺、病院が分布しているが、皆規模が小さく、まとまった緑地は少ない。
- ・特に荻窪駅の北側は周辺地域においても緑地が少ない状況となっている。

【緑地の分類】

① 公園緑地等の都市施設とする緑地	
・ 都市計画公園・緑地(都市計画決定された公園緑地の供用開始部分)	
・ 都市公園(都市公園法に基づいて設置された公園緑地)	
・ 条例等の公園(都市公園以外の児童遊園など)	
② 制度上安定した緑地：法律や条例等に基づいて保全が図られている緑地や公共空地	
・ 特別緑地保全地区	
・ 生産緑地地区	
・ 風致地区	
・ 河川区域	
・ 区民農園	
・ 区営苗圃	
・ 天然記念物の樹林、保護樹林	
・ 公共空地(自転車歩行者専用道路、公共のグラウンド)	
③ 社会通念上安定した緑地：法や条例等による指定はないが、永続性の高い緑地	
・ 社寺境内地	} 空地が 500 ㎡以上あるもの
・ 大学	
・ 病院	
・ 民間グラウンド	
④ その他の緑地	
・ ①～③に含まれない 500 ㎡以上の樹林地	
・ 生産緑地、区民農園以外の農地	
・ ①②に含まれない公共公益施設	
・ 500 ㎡以上の独立した駐車場	

【緑地の分布状況】



※平成 19 年度杉並区みどりの実態調査より抜粋

### 《公園・オープンスペース》

- ・対象地区の公園の面積を町目毎にみると、上荻1丁目及び荻窪4丁目が全く公園がなく、最も面積が大きいのは、荻窪3丁目で16,897.33㎡となっている。
- ・1人あたりの公園面積をみても、荻窪3丁目が多く、3.11㎡/人でとなっている。
- ・杉並区の平均は1.85㎡/人（平成21年4月の実績）であり、「杉並区みどりの基本計画」（平成22年5月）においては区民1人あたりの公園緑地の面積を5㎡/人としているのに対し、地区全体として公園の面積が不足している。
- ・今回のアンケート調査からも、公園の整備を求める意見が多くみられ、特に荻窪駅に近接した公園や子供が自由に遊べる公園が望まれている。

【1人あたりの公園の面積】

	公園面積 (㎡)	人口 (人)	1人あたりの公園面積 (㎡/人)
上荻一丁目	0.00	1,449	0.00
上荻二丁目	642.73	4,455	0.14
天沼一丁目	1,767.85	3,759	0.47
天沼二丁目	304.01	5,021	0.06
天沼三丁目	2,222.20	5,519	0.40
荻窪二丁目	3,015.05	3,860	0.78
荻窪三丁目	16,897.33	5,425	3.11
荻窪四丁目	0.00	3,903	0.00
荻窪五丁目	338.36	4,214	0.08
南荻窪四丁目	2,798.30	3,085	0.91
阿佐谷南三丁目	5,062.83	6,726	0.75
合計	33,048.66	47,416	0.70

※土地利用現況調査データ（平成18年度調査）を基に作成

## ② 荻窪駅周辺における緑の状況

### 《駅前及び駅前通り》

- ・ 駅の北口については、整備前の駅前広場は緑がほとんどなく、殺風景なものであったが、整備後は中央部に桜とケヤキが植えられ、駅舎に隣接した多目的広場にも樹木が植えられている。
- ・ 駅の南口は駅前通りに街路樹がなく、沿道の建築物も緑化を行っていないため、全体的に緑が少ない印象となっている。駅前通り沿道の公共施設（あんさんぶる荻窪）において壁面緑化やオープンスペースの緑化を行っているが、駅からの視認性は低い。

【北口駅前広場】



※写真は駅 wiki ホームページより引用



【駅舎に隣接した多目的広場】



「荻窪音楽祭」の会場等として活用される他、JR 荻窪駅構内に自生していた“荻窪”の地名の由来となった「荻」が移植されている。

【南口駅前】



駅前通りの歩道には低木植栽帯が設置されているが、街路樹はなく、沿道の建築物の緑化も行われていないため、緑の印象は薄い。

【青梅街道】



街路樹の樹冠が小さいため、シンボリックな景観としてはやや不十分

### 《駅周辺の敷地及び建物》

- ・店舗・事務所については、商店街等で店先にプランターを設置している店舗はいくつかあるものの、積極的に接道部等の敷地内や建築物の緑化を行っている例は少ない。
- ・駅南口の荻窪地区の戸建て住宅は、敷地の規模が大きく、屋敷林や庭の植樹等、広いスペースを利用した豊かな敷地内緑化を行っている。駅北口の天沼地区は、敷地が狭く、建築物が密集しているため、緑化が困難な敷地が多いが、玄関先の緑や生け垣等で積極的に緑化を行っている例もみられる。
- ・青梅街道や幅員の広い大通りに面する共同住宅は、敷地が狭く、道路と建物間にスペースがないこと、1階がマンションの出入口や車庫、店舗等となっている建物が多く、プライバシーを確保する必要がないこと等から接道部を緑化している例は少ないが、裏通りに面する共同住宅は、1階に居住空間が設けられている場合が多く、通りからの目線を遮る植栽帯が設置されている例が多く見られる。また、最近新築されたマンションでは、近年の環境への関心の高まりを反映してか、緑化を行っている例がみられる。

### 【店舗・事務所（南口）】



▲荻窪南口仲通り商店会



▲荻窪南口仲通り商店会



▲荻窪すずらん通り商盛会



▲荻窪すずらん通り商盛会



▲荻窪南口仲通り商店会（横道）



▲荻窪南口仲通り商店会（横道）

【店舗・事務所（北口）】



▲荻窪北口大通り商店街振興組合



▲教会通り新栄会



▲荻窪駅前商店会



▲荻窪駅前商店会



▲天沼八幡通り商店会



▲荻窪寿通り商店会

【住宅】



▲戸建て住宅（荻窪地区）  
敷地に余裕があり、接道部等の積極的な敷地内  
緑化が見られる



▲戸建て住宅（天沼地区）  
建物が密集しており、緑化が困難な敷地が多い



▲共同住宅（大通り沿い）  
大きな通り沿いの共同住宅は、道路と建物の間にスペースがなく、緑化している例は少ない



▲共同住宅（裏通り）  
裏通りの共同住宅は、接道部を中心に緑化を行っている例が見られる



### ③ 緑化の整備手法及び事例の整理

- ・ 今回のアンケート調査では、駅周辺の問題点として、“駅前や大通りにおける緑の不足”を指摘する意見が多く、さらなる緑の充実が望まれている。具体的な意見として、駅前におけるランドマークとなるような樹木の植樹やシンボリックな並木道の形成等があげられている。
- ・ 荻窪駅周辺の緑の充足状況等からも、駅前や商店街、幅員の広い通りの沿道、駅北口の住宅地において緑が少ないことから、これらの緑化に向けた整備手法と事例を例示する。

#### 【緑化の整備例】

##### ◎駅前

- ・ 荻窪駅を駅周辺における緑の発信拠点と位置付け、街路樹や既存の緑と一体となった緑のネットワークを形成する。
- ・ 荻窪駅への出入口をわかりやすくするとともに、荻窪駅のシンボル性を高めるため、北口のコンコースの出入口や駅前広場への進入口に緑のゲート等を設置する。
- ・ 青梅街道の街路樹は北口駅前広場の緑の一部となっているため、駅前広場内の樹木と街路樹の樹種をそろえること等により連続性を持たせ、一体感のある駅前空間を演出する。
- ・ 北口駅前広場において、「花咲かせ隊」等の住民ボランティアによる植栽を行い、地元の創意工夫による個性的な緑化や地元の緑化に対する機運醸成を図る。
- ・ 北口駅前広場や南口の駅前通りに面する建物については、駅からの見え方に配慮し、壁面後退による接道部の緑化や壁面緑化等の建築物の緑化による“見える緑化”を推進する。

##### ○花咲かせ隊

区立公園等において住民が実施する花壇づくりなどの緑化活動を杉並区が支援する制度。

参加資格：  
区内在住の5名以上のグループ

活動内容：  
参加者が公園の花壇の土づくりからデザイン、草花の植え付け、除草、水やりなどの日常の維持管理を実施。花壇の広さは原則1団体4㎡



※写真はぼうはん日本ホームページより引用

## [駅前緑化の事例]

### 武蔵境駅

[所在地] 武蔵野市

[乗入路線] JR 中央線、西武鉄道多摩川線



#### [緑化の概要]

##### - 駅舎の緑化

武蔵境駅の高架化及び駅ビル（Emio 武蔵境）の開店に併せ、駅南口に緑で覆われたシンボルゲートを設置

##### - 隣接敷地の緑化

駅前広場に隣接した農水省食糧倉庫跡地において、地域の人々の交流の場となる芝生で覆われた広場（2,162㎡）を整備。駅前広場や街路樹等と一体感を持たせる創りとなっている。

[整備完了] 平成 23 年

[関連事業] 社会資本整備総合交付金事業（旧まちづくり交付金）



▲奥の建物：武蔵野プレイス、手前：境南ふれあい広場公園  
広場の木陰にお洒落なベンチを設置



▲境南ふれあい広場公園  
親子連れの遊び場やイベント会場等、多目的に利用されている



▲イベント会場として利用される駅前広場  
駅前広場で駅施設の完成を記念したイベント（武蔵境ピクニック）を開催



▲既存の緑をつなぐ核を形成  
駅前広場や周辺道路の既存樹木をつなぐ拠点として緑のネットワークを形成

※武蔵野市、武蔵野プレイスホームページより引用

## 柏の葉キャンパス駅

[所在地] 柏市

[乗入路線] TX つくばエクスプレス



### [緑化の概要]

#### - 駅前広場の緑化

市民が花や野菜、ハーブなどを植えるワークショップ等により、駅前広場を緑化する「かしはなプロジェクト」を実施。

高齢者や障害者も参加できるプロジェクトもあり、千葉大学により「園芸療法」の科学的な検証も行われている。

[事業開始] 平成21年～

[主催] かしはなプロジェクト事務局

[関連事業] 千葉県「持続可能な国際都市づくりのための新たな担い手育成支援事業」



▲車いすの方でも園芸を楽しむことができる立体プランター（レイズドベッド）を千葉県山武杉の間伐材で作成



▲季節感ある美しい花や緑が、通行者の目を楽しませてくれる、かしはなのシンボル・ガーデン



▲日常の手入れ作業は毎週定期的に行われ、不定期に様々なワークショップ（参加費無料）が開催される



▲見頃を迎えた「かしはな花壇」

※「かしはなプロジェクト」ホームページより引用



▲レイズドベッドは食べられる野菜も栽培し、かなりの量が収穫できる



▲駅前で毎月開催されている「マルシェコロール」で駅前で作ったラベンダーやハーブを販売



▲レイズドベッドで育てた野菜を収穫し、参加者が地料理をし、味比べを楽しむ



▲花壇で育てたラベンダーを使って、雑貨作りのワークショップを開催

※「かしはなプロジェクト」ホームページより引用

### [駅前の敷地及び建物緑化の事例]

#### 駅前施設の壁面緑化等



新浦安駅前プラザ



丸の内ブリックスクエア

▲駅前のように緑化スペースがない敷地においても効果的な緑化が可能

(壁面後退区域における低木による接道部緑化)



▲大通り沿道の商業施設等で、自転車や車からでもショーウィンドーが良く見える

(壁面後退区域における中～高木による接道部緑化)



### ◎商店街、住宅地

- ・間口のほとんどをショーウィンドーや出入口が占める店舗では、人の出入りや視線の妨げとならないような壁面緑化や、高木による部分緑化により、小規模な店舗においても効果的な緑化を行う。
- ・商店街毎又は通り毎に統一したプランターを設置し、商店街の個性や統一感のある街並みを演出する。
- ・カフェ等では、道路と店内の境界を植栽とすることで、外と内をゆるやかにつなぎ、店内の落ち着きを保ちながら、道行く人が楽しくなる環境をつくる。

### [商店街の緑化の事例]



◎住宅地

- ・ 共同住宅では、戸建て住宅との間に緑化した緩衝帯を設け、圧迫感を低減させる。
- ・ ある程度まとまった空地を設け、中～高木等で効果的に緑化を図る。
- ・ 敷地内の貫通通路や駐車場、駐輪場等の緑化を図る。

[共同住宅の緑化の事例]



▲上左右：ラ・ヴェール東陽町（江東区）の駐車場棟の壁面緑化、屋上緑化（HOUECO ホームページより引用）

## (7) 環境

### ① 持続可能な都市構造の創出に向けた取組み

- ・近年、太陽光などの再生可能エネルギーや電気自動車を使った交通システム等、ITや先端技術の活用により持続可能な都市を構築するための「スマートシティ」「スマートコミュニティ」の取組みが注目を集めているところであり、平成20年7月には、自治体の環境への取組みを促進する施策として、国により14の自治体が「環境モデル都市」に選定された。また、民間主導の取組みでは、神奈川県藤沢市や大阪堺市、千葉県柏市、青森県六ヶ所村にて実証実験等が行われている。
- ・これらの取組みより、荻窪駅周辺における実施が想定できる取組みを以下に例示する。

#### 【住民活力を活用した取組み】

##### ○エコもてなし（横浜市）

ファーストフード店や宿泊施設等で使い捨て容器をゼロにすることを目指す

##### ○エコショップ認定制度（水俣市）

簡易包装の推進や牛乳パック・プラスチックトレーの店頭回収のように、ごみの減量やリサイクルなど環境に配慮した取組みを行っている商店等を自治体が認定する制度

##### ○エコポイント（北九州市）

省エネ家電の購入や植林活動で獲得することができるエコポイントシステム「北九州市民環境パスポート」事業にカーボンオフセットなどの仕組み「北九州グリーンファンド」を織り込み、市民の「見える化」「感じる化」による環境行動のプラットフォーム整備

#### 【高性能住宅の普及】

##### ○住宅性能の評価・格付け精度（横浜市）

住宅性能の評価格付けを行い、一定水準以上の高性能住宅については固定資産税を軽減する等の対策を施し、ゼロカーボン住宅や200年住宅の普及を行う

#### 【交通対策】

##### ○低燃費車の普及促進

電気自動車やハイブリッド車といった低燃費車の普及を促進するため、エコカーといわれる自動車への買換え時には低利で融資を行うとともに、充電インフラの固定資産税を軽減するといった対策を実施

##### ○コミュニティサイクルシステム

住民が自由に利用できるコミュニティサイクルシステム。自転車道ネットワークの形成に向けて自転車走行環境を整備したりと、自転車の更なる利用拡大を図ることで、低炭素型の都市交通に繋げていく

### ② 環境共生都市の先進事例

- ・持続可能な都市構造の創出に向けた取組みの参考として、世界各国で実施されている環境共生都市の先進事例を整理する。

**開発所在地** : 神奈川県藤沢市辻堂元町 6-4-1  
**面積** : 約 19ha  
**計画地用途** : 住宅 1,000 戸 / 商業 / 公益施設  
**計画人口** : 3,000 人 (1,000 世帯)  
**スケジュール** : 2013 年度後半 街びらき (予定)  
**総事業費** : 約 600 億円 (内パナソニック G...約 250 億円)  
**関係主体** : パナソニック株式会社  
 藤沢市、アクセンチュア株式会社  
 オリックス株式会社、株式会社日本設計  
 住友信託銀行株式会社、東京ガス株式会社  
 パナホーム株式会社、三井不動産株式会社  
 三井物産株式会社



### パナソニック藤沢工場跡地に計画中的スマートタウン・プロジェクト



- ・政府は 2010 年、新成長戦略として「環境未来都市」を国内で開発・パッケージ化して輸出する構想を打出した。
- ・これらを背景に、藤沢市とパナソニックは、2010 年 10 月に「Fujisawa サステイナブル・スマートタウン構想」を基本合意し、環境配慮型まちづくりやスマートシティ・プロジェクト等の先進的な取組みを進める 8 社と実現に向け、共同事業検討を進める。
- ・この Fujisawa SST の事業モデルを、今後国内外で積極的に展開していく。
- ・街全体での CO2 削減 70% (1990 年比) を目指す。
- ・パナソニック創業 100 周年となる 2018 年に、全世帯入居を予定している。

### 「家まるごと、施設まるごと、街まるごとのソリューション」をパナソニックが構築



- ・太陽光発電システムと家庭用蓄電池を全ての住宅・施設・公共ゾーン等の街区全体に初期から標準装備する。
- ・創エネ機器 (太陽光発電、家庭用燃料電池『エネファーム』等)・蓄エネ機器 (蓄電池、ヒートポンプ給湯機等)・省エネ機器 (空調、照明等)・SEG※・宅内ディスプレイを核としたシステムのパッケージ化により、快適性と高いエコ性能の両立する。
- ・スマート家電をはじめ将来のネットワーク連携を視野に入れた、「進化するシステム」を構築する。
- ・SEG による自律・協調制御の下、非常時における最低限の必要エネルギーを自給自足で賄う。

※SEG(Smart Energy Gateway) : 創・蓄・省エネ機器を独自の連携技術によりコントロール、最適なエネルギー管理を実現するコントロール機器

### パートナー企業 8 社の事業構想具体化に向けた検討内容

#### accenture

- ・スマートタウンの構想策定、及び、サービスモデルの企画・推進
- ・世界のトレンドを踏まえたスマートタウンのプラットフォーム構築支援
- ・各国でのスマートシティ/グリッド支援実績を活かした海外展開・マーケティング支援

#### ORIX

- ・街全体の価値向上および様々なサービスをワンストップで提供するサービス事業の検討
- ・モビリティシェアリング事業による低炭素な街づくり

#### 日本設計

- ・新エネルギー機器等の最適導入計画とその空間デザイン
- ・スマートタウンにふさわしいランドスケープデザインの提案
- ・スマートタウンを維持し続けるためのガイドライン等の策定

#### 住友信託銀行

- ・スマートタウン評価指標 (環境不動産価値) の設計
- ・藤沢 SST 専用の環境配慮型住宅ローンの商品企画
- ・住民のタウンカード・決済、ポイント管理
- ・リース・ファイナンススキーム (2 次電池等) の提供

#### PanaHome

- ・土地区画整理事業等開発に関する基盤整備
- ・宅地・住宅分譲事業への参画
- ・街づくりの計画・設計・開発ルール策定
- ・街の維持管理を目的としたサービス事業のスキームづくり

#### TOKYO GAS

- ・家庭用燃料電池「エネファーム」の最新機器導入
- ・エネファームを活用したエコで快適な暮らしを提案
- ・スマートエネルギーネットワークの推進

#### 三井不動産

- ・土地区画整理事業等開発に関する基盤整備
- ・宅地・住宅分譲事業への参画
- ・街づくりの計画・設計・開発ルール策定
- ・街の維持管理を目的としたサービス事業のスキームづくり

#### 三井物産株式会社

- ・グローバル展開にも応用可能なインフラ整備及び街区・不動産開発
- ・海外の潮流等も踏まえたエネルギー・マネジメントサービス

名称	Hammarby Sjostad
開発所在地	ストックホルム市中心部から電車で約20分
従前土地利用	工業団地
事業主	ストックホルム市主導
供給戸数	約10,000戸
計画人口	20,000人以上
事業期間	1993～2018年
	1997 着工
	2012 一部オープン
	2018 完成予定
特徴	ウォーターフロント型環境先進エコ住宅都市



### 排水、家庭廃棄物から消費エネルギーの50%を賄うシステム



- ・キッチンで使用される燃料として、下水汚泥や生ごみから発生させたバイオガス（96～98%がメタンガス）が都市ガス、天然ガスとともに使用されている。
- ・また、バイオガスの一部は車や燃料電池の燃料としても活用されている。
- ・マンションや道路に取り付けられたカラフルな円筒形の分別用ゴミ箱は地下に繋がっており、分別されたゴミはコンピュータ制御によって、定期的に地下に設置されたパイプラインを通して、負圧により時速70kmで処理場に運搬され、生ゴミはバイオガス生産用燃料として使用される。
- ・これらのシステムは Envac 社による “Underground Waste Management System” と呼ばれている。

### 燃料電池、太陽電池、屋上緑化等の導入



- ・スウェーデンにおいて初めて燃料電池が住宅用に使用されている。設置された3基（各5kW出力）のうち2基はSOFC（固体酸化物型燃料電池）で、1基はPEFC（固体高分子形燃料電池）、それぞれアトリエ風邸宅、集合住宅、展示施設に設置されている。
- ・太陽電池と太陽熱温水器が設置され、太陽エネルギーが利用されている。太陽電池は集会所の屋根に瓦の代わりに設置され、太陽電池の躯体が半透明であるため採光性が高く、部屋が非常に明るくなっている。
- ・太陽熱温水器はアパートの屋根に設置し、温水をアパートの125戸に供給している。その他、多くの建物に屋上緑化が施されている。
- ・現在、ソーラーパネルは3か所（2007年時点）の建物に設置されており、年間1㎡あたり100kwの電力を供給している。ソーラーパネルは、今後増やしていく。

### 省エネ型交通システム



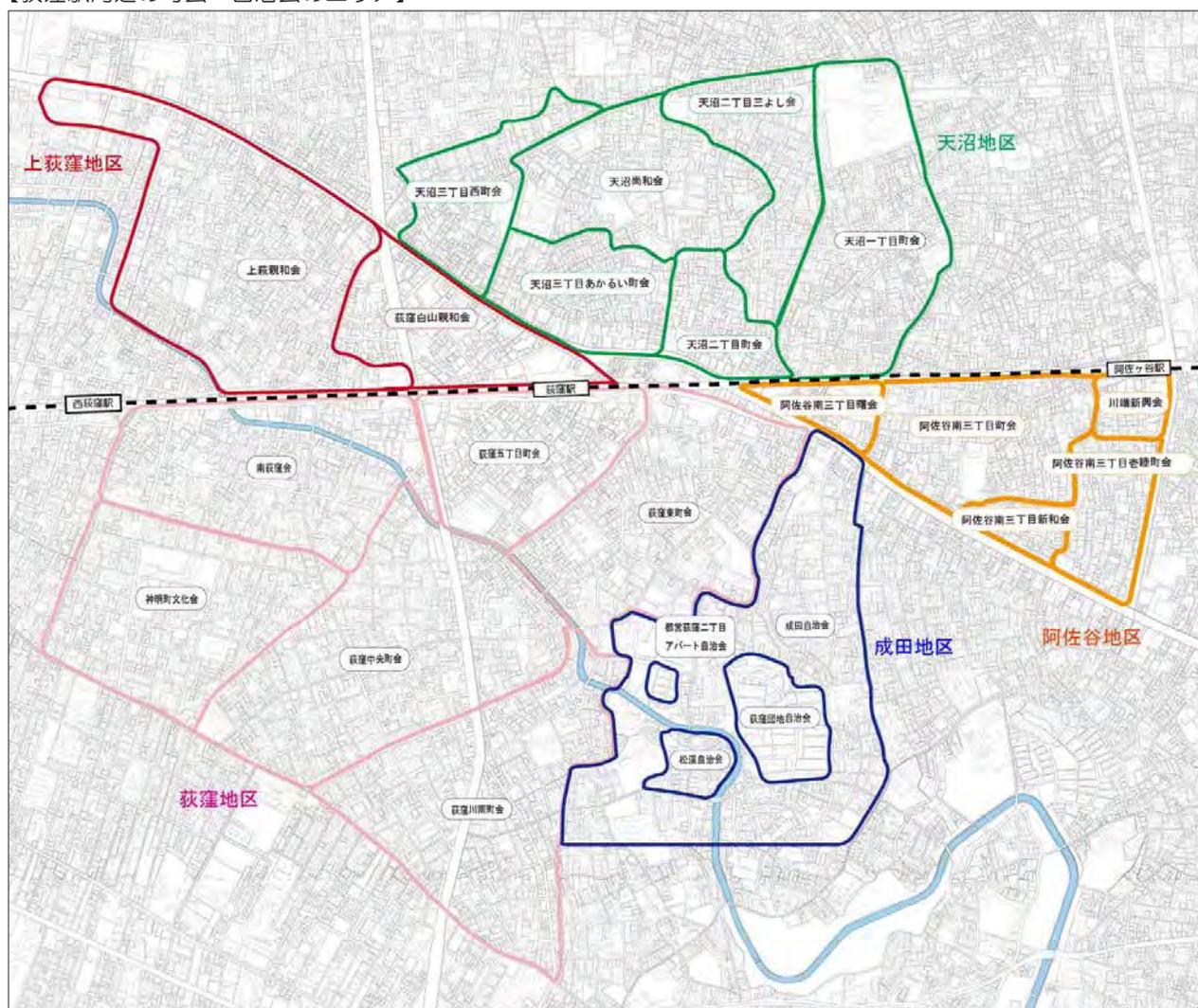
- ・カーシェアリングや市バス、フェリー、トラムなど多様な交通手段が整備されているほか、歩道や自転車道の充実が図られている。
- ・カーシェアリングシステムでは、2007年時点で住民5,500人の内350人が登録し、35台の車を共有している。
- ・電気が動力のトラムはCO2を排出しない。最終的には、住民と通勤者のうち、8割の公共交通利用を目指す。

## (8) 地域コミュニティ

### ① 町会・自治会

- ・ 杉並区では、杉並区内全体の町会・自治会の連合組織として杉並区町会連合会があり、杉並区町会連合会と各町会・自治会との連携を図るため、17の地区町会連合会が設置されている。
- ・ 対象地区に係る町会・自治会の数は23あり、各々がJR中央線及び青梅街道を境として荻窪地区、上荻窪地区、天沼地区、阿佐谷地区、成田地区の5つの地区町会連合会に所属している。

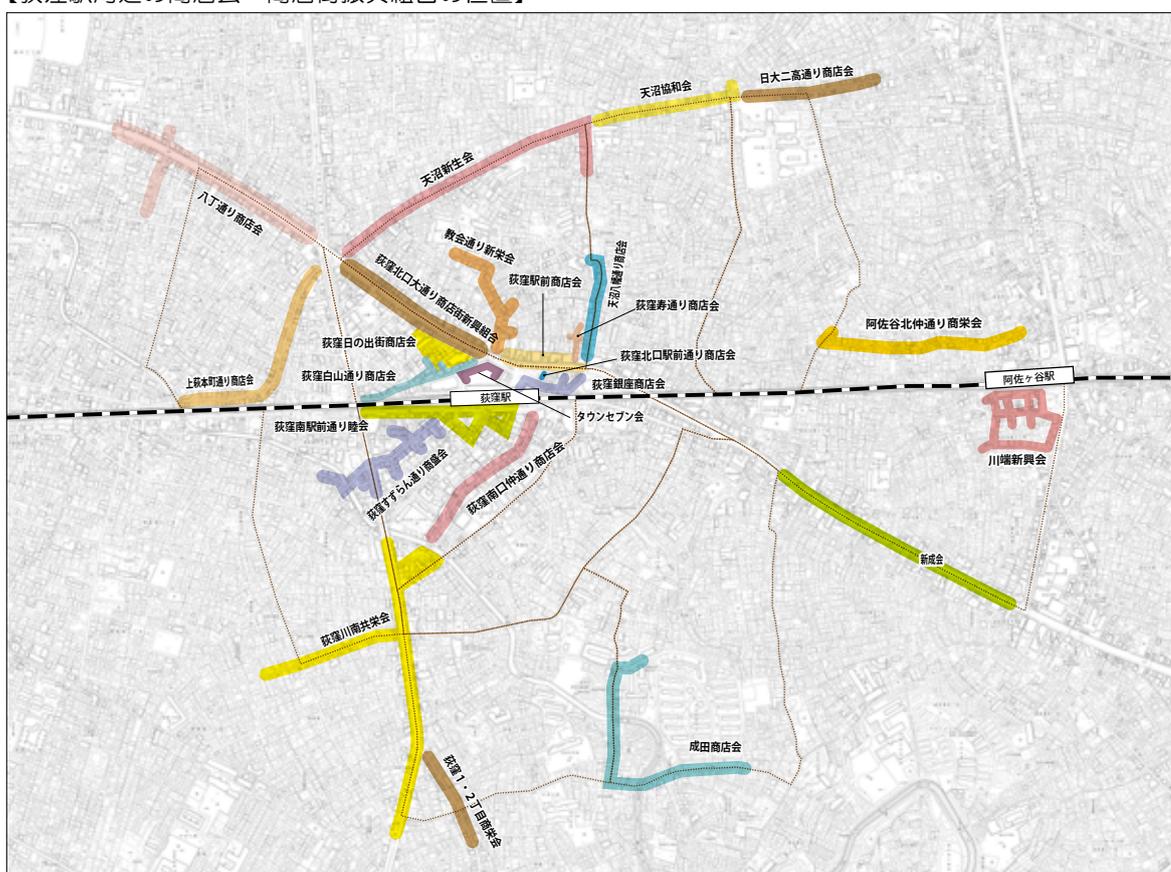
【荻窪駅周辺の町会・自治会のエリア】



## ② 商店会、商店街振興組合

- ・対象地区に係る商店会・商店街振興組合の数は24あり、環状8号線や青梅街道、日大二高通り沿道を中心として荻窪駅から1km以上離れた地域まで広く商店街が形成されている。
- ・荻窪駅周辺に位置する11の商店街は『荻窪地区発展協議会』に加盟している。
- ・各々の商店会・商店街振興組合は、独自にイベントや散策MAPの作成、IT技術を活用した情報発信事業等を実施しているが、荻窪駅周辺の商店街が連携した取組みはあまり実施されていない。

【荻窪駅周辺の商店会・商店街振興組合の位置】



## ③ その他の地域活動団体

- ・杉並区内には311団体のNPO法人があり、そのうち30団体が対象地区内に主たる事務所を設置しており、NPO活動が活発な地域となっている。
- ・また、荻窪地域及び杉並区内を中心として活動しているまちづくりを目的とした団体は次頁のものがあげられ、生涯学習やボランティア活動等を通じて地域住民同士の交流を図り、地域コミュニティの育成と人材育成等を行っている。

【狹窪駅周辺を活動拠点とするNPO法人一覧】

認定年	特定非営利活動法人の名前	主たる事務所の所在地	定款に記載された目的	活動の分野																
				① 保健、医療又は福祉の増進	② 社会教育の増進	③ まちづくりの推進	④ 学術、文化、芸術又はスポーツの振興	⑤ 環境の保全	⑥ 災害救援活動	⑦ 地域安全活動	⑧ 人権の擁護又は平和の推進	⑨ 国際協力活動	⑩ 男女共同参画社会の形成の促進	⑪ 子供の健全育成	⑫ 情報化社会の発展	⑬ 科学技術の振興	⑭ 経済活動の活性化	⑮ 職業能力の開発又は雇用機会の拡充を支援	⑯ 消費者の保護	⑰ 以上の活動を行う団体の運営又は活動に関する連絡、助言又は援助
1	H16年 高度情報通信推進協議会	南狹窪四丁目	高度情報通信技術及び応用の開発・普及・啓蒙・人材育成。	●						●		●			●			●		
2	H19年 “遊びとつつけ”推進会	狹窪二丁目	次世代を担う子どもたちが、心身ともに健全に育つことを目的とする。	●							●									
3	H12年 たすけあいワークアースさんか	狹窪五丁目	保育・家事・介助・介護等の支援、調査研究、政策提案等の活動を行う。	●							●								●	
4	H13年 NCN	南狹窪三丁目	育児相談、音楽・演劇の公演、地域の危機管理、高齢者が健康で働き暮らすために役立つ研修会を行う。	●							●									
5	H14年 高齢者支援センター	狹窪四丁目	高齢者にとってやさしい街づくりを提言する。また高齢者の知識、知恵を子供達に伝え、健全な子供達を育てる。	●							●									
6	H14年 東京シルバークアア研究会	上狹一丁目	高齢者及び障害者等が生活した上で保つる制度及び高齢者及び障害者等が直面する問題の全ての調査、研究、評価を行い、情報を提供する。	●							●									
7	H15年 エルブ	上狹一丁目	精神障害者のよりよい地域生活の実現に向け、その支援活動の拡充と社会的環境の整備を図る。	●																
8	H15年 自然と動物を考える市民会議	阿佐ヶ谷南三丁目	人と動物のより良い共存関係を築くために各種啓発事業を通して、動物愛護精神の高揚と動物の適正飼養の知識と技術の普及をはかる。																●	
9	H16年 地中熱利用促進協会	狹窪五丁目	環境に優しい地中熱の利用技術全般について調査・標準化・普及促進等の事業を行う。																●	
10	H16年 サンフワワー	阿佐ヶ谷南3丁目	高齢者が住み慣れた地域社会における生活を確保するため、不動産及び建築等に関する専門知識・経験を生かしたコンサルティング事業を行う。																●	

※狹窪区ホームページ「狹窪区のNPO法人認証団体一覧」参照

【狹窪駅周辺を活動拠点とするNPO法人一覧】

認証年	特定非営利活動法人の名前	主たる事務所の所在地	定款に記載された目的	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	
11	H16年 プランニング∞遊	狹窪五丁目	子育てとそれをとりまく環境に関する普及啓蒙事業、人材育成・派遣事業、交流の場の提供とネットワークの構築事業、政策提言事業等を行なう。	●	●	●								●							●
12	H16年 Dreamers	狹窪五丁目	子育てに悩む方々のための相談対応業務やシンポジウム等の啓蒙事業を行う他、養護児童の自立支援、子どもの健全育成等を行う。	●	●	●	●	●						●							●
13	H16年 Tuning For The Future	阿佐谷南三丁目	おもにパソコンやデジタルメディアを用いた作業効率化支援事業、省資源推進事業、情報収集、調査事業、セミナー等の啓蒙事業等を行う。	●	●	●								●							●
14	H17年 おでかけサービス杉並	狹窪五丁目	いわゆる移動困難者の方々に、移動を始めとする日常生活を支援する。またいつまでも健康で、生きいきと暮らせる支援活動を行う。	●	●	●								●							●
15	H17年 ウエル パートナー	上荻二丁目	保健、福祉の増進、訪問看護・施設入所者生活介護、通所介護、高齢者移送及び介護介助等に係る支援・啓蒙普及活動等の事業を行う。	●	●																
16	H18年 東京理容美容福祉協会	阿佐谷南三丁目	健康で真に豊かでゆとりある生活を実現するため、理容美容技術者が持っている技術を広く社会福祉に役立てる。	●	●																●
17	H18年 むく	阿佐谷南三丁目	障害者が個人としての尊厳を十分に尊重され、社会の成員として、就労を含む日常生活を営むことができるよう支援する。	●																	
18	H19年 あおば福祉会	上荻一丁目	精神障害者のよりよい地域生活の実現に向け、その支援活動の拡充と社会的環境の整備を図る。	●																	
19	H19年 しゅえもん	上荻二丁目	ろう児及びひろう者の両親を持つ子どもを中心に、家庭教師の派遣、地域や学校との連携を結んだ教育支援事業、生涯学習の支援事業、研究活動並びに情報提供事業を行なう。		●									●	●						●
20	H19年 ちいきちいき	狹窪四丁目	親の自立支援に関する事業、育児の手助けに関する事業、異世代異文化交流に関する事業、新しい地域社会づくりに対しての普及啓蒙教育に関する事業を行う。	●	●	●	●	●						●	●						●

※杉並区ホームページ「杉並区のNPO法人認証団体一覧」参照

【狹窪駅周辺を活動拠点とするNPO法人一覧】

認証年	特定非営利活動法人の名前	主たる事務所の所在地	定款に記載された目的	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	
H19年	日本スポーツ教育協会	狹窪三丁目	スポーツ・環境安全に関するプログラムの開発、イベント、スクール、公共スポーツ施設の管理・運営に関する事業を行う。				●	●						●							●
H20年	美術教育支援協会	狹窪四丁目	美術を通して感性豊かな人格形成を行うための教育に対して、美術教材の提供、教育機会の提供、教育人材の派遣などの事業を行なう。	●			●							●							●
H20年	銀座温泉語会「さんざのかい」	上狹二丁目	温泉郷の旅館・ホテル及びその所在する地方自治体（市町村）に対して「町おこし・村おこし・温泉おこし等」を提案し、地域活性化支援事業のお手伝いを行い、旅行者等に対し、国内温泉郷等へのより質の高い旅行の企画・提案事業を行う。			●							●				●				●
H20年	アパロンネットワーク	南狹窪四丁目	中高年層に対して、余暇開発に関する事業を行う。	●			●														●
H20年	環境カウンセラー全国連合会	狹窪五丁目	次世代を担うこともたち並びに多くの市民及び事業所等に対し、環境保全思想の普及啓発を行う。				●														
H21年	キャリアアレンジ	南狹窪四丁目	男性の育児休業取得拡充のためのセミナー事業、高齢者の再就職支援事業、子どもの職業体験事業、小冊子・情報誌の発行及びホームページの開設による普及啓発事業を行う。		●								●	●							●
H22年	子ども交通安全支援ネットワーク	狹窪五丁目	定期的に子供や保護者、職員を交えての交通安全大会、職員に対してのワークショップ及び園児を対象とした表現体験をはじめとした交通安全に基づいた環境づくりや実施。		●		●	●	●	●			●								
H22年	全国農業体験農園協会	狹窪二丁目	農業者に対して農業体験農園の普及並びに運営等に対する協力・支援を中心とした農業経営の改善支援を行うとともに、農業啓発を行う。	●										●			●	●			●
H22年	アニメーター支援機構	狹窪四丁目	映像業界への就職を目指す人などに向けたイベントやセミナー等の企画や開催などの事業を行う。また映像制作を行う上で必要となる機材や場所、情報、交流の場を提供する。	●			●														●
H22年	和陽文化振興会	狹窪二丁目	日本の伝統的な芸術および文化などに関する事業を行い、日本の伝統的な芸術・文化に携わるアーティストの活動を支援する。				●														●

※狹窪区ホームページ「狹窪区のNPO法人認証団体一覧」参照

【その他の地域活動団体の概要】

●荻窪地域区民センター協議会

[目 的] 住民自治のもとに、地域住民の相互の交流と活動の拡大を図り、地域の豊かなまちづくりを進める

[主 体] 荻窪地域内の町会・自治会、商店会、小・中学校 PTA、青少年育成委員会、民生委員などの団体推薦委員と公募委員 38 名以内（原則）のボランティア

[活動内容] ・各種学級講座  
・センターカレッジの開催まつり  
・アート展などの集団事業の開催  
・広報誌の発行・ホームページの運営  
上記等の地域のコミュニティ形成に必要な事業

●特定非営利活動法人すぎなみ学びの楽園

[目 的] 世代を問わず地域内での交流を深め、楽しく豊かに過ごす杉並ライフ創りを目指す

[発 足] 平成 18 年

[主 体] 『すぎなみ地域大学』の講座修了生等

[活動内容] ・旧角川源義邸、区立「角川庭園・すぎなみ詩歌館」の運営管理業務  
・杉並区の高齢者の施設である「ゆうゆう館」の運営管理業務  
・天沼弁天池公園の清掃、管理などの「公園育て」のボランティア活動  
・杉並まちづくり交流協会の中心として「まちづくりサロン」を実施  
・「まちづくり博覧会」で杉並区と協働し地域のまちづくり団体の活動の発表

●すぎなみ地域大学

[目 的] 地域活動に必要な知識・技術を学び、仲間を拓げることで、地域社会に貢献する人材を育成する

[発 足] 平成 18 年 4 月

[主 体] 杉並区

[活動内容] 日常生活に関する講座から専門的な知識を学べる講座まで多様な講座を NPO 法人等が開催する。講座終了後は実際に活動できる場が提示され、地域活動に取り組むことができる。

## (9) 文化・芸術・スポーツ

### ① 文化・芸術活動

#### 《文化・芸術に関する活動状況と活動拠点》

- ・ 杉並区内を主な活動地域とする文化・芸術関連の活動団体は、音楽をテーマとしたものが多く、杉並公会堂やセッション杉並等の施設を中心として演奏会等を開催しており、近年も新たな団体が設立されている。
- ・ 区民が活動拠点として利用できる施設は対象地区内に 8 つあり、定員 100 人以下の小～中規模の会議室が多い。

#### 【杉並区内の文化・芸術活動の状況】

団体・事業名称	テーマ	活動内容	団体種別	活動地域	設立時期
カサブランカ	音楽	音楽やダンスやファッション、健康をテーマとしたイベント開催等	任意団体	杉並全域	平成 13 年
杉並尺八研究会	音楽	古典尺八等の研究、小中学校での出前授業等	任意団体	杉並全域	平成 20 年
杉並区民オペラ	音楽	オペラの普及・地域文化の発展を目的とした区民参加型のオペラ公演の実施等	任意団体	-	平成 20 年
ウクレレ・レイ・アロハ	音楽	ウクレレやハワイアンソングを通じた交流会等	任意団体	杉並全域	平成 23 年
杉並ジュニア混声合唱団	音楽	定期演奏会及び区の主催演奏会など数々の演奏会に参加。また、レコーディング等	任意団体	高円寺地域	-
NPO 法人楽弦	音楽	コンサートの実施等	NPO 法人	京王井の頭線沿線	-
杉並で能楽をたのしむ会	文化	大宮八幡宮での能の実施等	その他	杉並全域	平成 12 年
特定非営利活動法人芸術資源開発機構	アート	高齢者施設等へのアートデリバリー(ワークショップ開催)	NPO 法人	国内全域	平成 14 年
特定非営利活動法人チューニング・フォー・ザ・フューチャー	アート情報化	一般の企業向け IT スキルのブラッシュアップ型講座から地域で活動する団体や個人を支援するための各種実践的な講座を実施	NPO 法人	杉並全域	平成 16 年
杉並シナリオワークショップ	演劇	シナリオ作成の勉強会、発表講演会の実施	任意団体	阿佐谷地域	平成 22 年
杉並郷土史会	歴史	杉並の歴史の研究、文化財の保護、歴史講演会や史跡見学会の開催	任意団体	阿佐谷、高円寺、荻窪	昭和 48 年

※すぎなみ地域ホームページ等参照

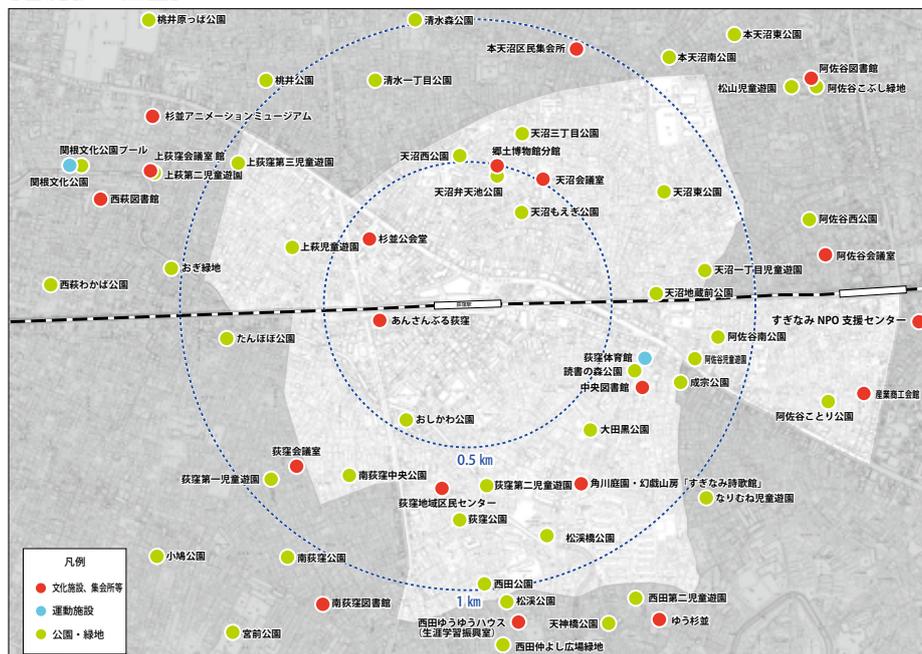
【荻窪駅周辺における文化芸術活動の拠点として利用できる公共施設】

名称	所在地	施設概要								総面積 ㎡
		会議室 集会場	体育 遊戯室	講堂	展示室	工芸室 料理室	音楽室	その他		
対象地区内	あんさんぶる荻窪	荻窪5丁目15番13号	8	1	—	—	—	—	—	787.3
	産業商工会館	阿佐谷南3丁目2番19号	3	—	1	1	—	—	1	595.0
	荻窪地域区民センター	荻窪2丁目34番20号	7	1	—	2	4	3	5	1330.2
	天沼会議室	天沼2丁目30番10号	2	—	—	—	—	—	2	243.0
	天沼児童館	天沼1丁目6番25号	1	—	—	—	—	—	—	51.8
	荻窪児童館	荻窪2丁目40番2号	—	1	—	—	—	—	—	117.9
	大田黒公園茶室	荻窪3丁目33番12号	—	—	—	—	—	—	1	47.8
	角川庭園・すぎなみ詩歌館	荻窪3丁目14番22号	—	—	—	—	—	—	3	327.7
対象地区周辺	杉並会館	上荻3丁目29番5号	3	—	—	—	—	—	3	438.3
	ゆう杉並	荻窪1丁目56番3号	3	2	—	—	1	—	7	—
	科学館	清水3丁目3番13号	—	—	1	—	1	—	4	787.7
	本天沼区民集会所	本天沼2丁目12番10号	4	—	—	—	—	—	1	174.6
	荻窪会議室	南荻窪2丁目28番13号	—	—	—	—	—	—	2	124.4
	上荻窪会議室	上荻3丁目16番6号	—	—	—	—	—	—	1	37.8
	阿佐谷会議室	阿佐谷北2丁目18番17号	—	—	—	—	—	—	3	126.6
	本天沼児童館	本天沼3丁目34番35号	—	1	—	—	—	—	—	90.9
	西田ゆうゆうハウス	荻窪1丁目38番15号	2	—	—	—	—	—	1	—
	杉九ゆうゆうハウス	本天沼1丁目2番19号	2	—	—	—	—	—	1	—

【その他文化芸術活動の拠点として利用されている施設】

名称	所在地	施設等の概要
杉並公会堂	上荻1丁目23番15号	日本フィルハーモニー交響楽団のホームグラウンドの機能も有する公共ホール。コンサートやシンポジウム、式典等に利用される。
郷土博物館分館	天沼3丁目23番1号	杉並の歴史を紹介する展示、体験教室や講座を開催
杉並アニメーションミュージアム (杉並会館内)	上荻3丁目29番5号	アニメ全般の紹介と、参加型展示や企画展を開催
中央図書館	荻窪3丁目40番23号	児童向けに「おはなし会」、「科学遊び」、「工作会」などの行事を開催、一般向けとして「講演会」や「展示会」を開催

【各施設の位置】



《特徴的な分野》

- アニメーション

- ・ 杉並区には 70 以上のアニメーション制作会社が立地しており、世界有数のアニメスタジオ集積地となっていることから、杉並区ではアニメーション産業を杉並の地場産業として位置付け、アニメ産業の発展支援に取り組んでいる。
- ・ その一環として、杉並アニメーションミュージアムを整備（平成17年）するとともに、「アニメーションフェスティバル in 杉並」や「杉並アニメ匠塾」等のイベントや講座を開催し、多くの参加者を集めている。
- ・ 地域においても、商店街とアニメーション制作会社等が連携し、アニメに関連したイベントを実施したり、小中学校の授業でアニメ制作を行うなど、地域一体となって「アニメのまち」としての取組みを行っている。
- ・ 荻窪駅周辺においてもアニメーション制作会社が多数立地しており、杉並アニメーションミュージアムの最寄駅ともなっている。

【アニメに関連したイベント】

<p>〈アニメーション制作会社等の主催イベント〉</p> <p>●アニメーションフェスティバル in 杉並</p> <p>〔主催〕 杉並アニメ振興協議会、杉並区等</p> <p>〔会場〕 杉並会館、桃井第一小学校等</p> <p>〔時期〕 1月～3月中での数日間</p> <p>〔イベント概要〕</p> <p>アニメ映画の上映やワークショップ、キャラクターの衣装で撮影会などのイベントが数日間にわたり行われる</p> <p>〔参加者数〕</p> <p>第9回（平成22年3月6日、7日）：約 10,520名          第8回（平成21年3月8日、9日）：約 13,010名          第7回（平成20年3月8日、9日）：約 8,200名</p>	
<p>〈商店街との連携イベント〉</p> <p>●上井草ガンダムスタンプラリー</p> <p>〔主催〕 上井草商店街振興組合</p> <p>〔会場〕 上井草商店街</p> <p>〔イベント概要〕</p> <p>商店街の店舗や杉並アニメーションミュージアムに設置したラリーポイントを巡るスタンプラリーを開催し、商品としてガンダムモニュメントのグッズを配布</p>	

※杉並区ホームページ、上井草商店街ホームページより引用

【荻窪駅周辺のアニメスタジオ】

荻窪駅周辺	阿佐ヶ谷駅周辺	西荻窪駅周辺
エヌ・デザイン	マッドハウス	パシフィックアニメーションコーポレーション
アクタス	南町奉行所	葦プロダクション
デセル	アトリエローク	かえるスープワークショップ
ノーマッド	アンサー・スタジオ	スタジオティーン
まどか	石垣プロダクション	キャッツ
旭プロダクション	グリーン	スタジオトイズ
ムクオスタジオ	スタジオ風雅	
オープロダクション		
スタジオフラッグ		
プロダクション・アイ		
カラク		
伽羅		

※交通新聞社「散歩の達人」（平成 18 年 3 月発行）参照

－クラシック音楽

- ・中央線沿線は、高円寺が若いロックミュージシャンやアーティスト等が集まるロックの街、阿佐谷が阿佐谷ジャズストリートに代表されるジャズの街として親しまれており、音楽と関連が深い街が多い。
- ・その中で荻窪駅周辺では、昭和 32 年の杉並公会堂の開館をきっかけとして、クラシック音楽が育まれ、平成 12 年からクラシック音楽を中心とした「荻窪音楽祭」が毎年 2 回開催される等、クラシック音楽を通じたまちづくりに取り組んでいる。

【クラシック音楽に関連した取組み】

●日本フィルハーモニー交響楽団との友好提携

平成 6 年に杉並区と友好提携を結び、杉並公会堂をフランチアーズホールとして活動している。

杉並公会堂での定期的なコンサートや杉並区役所のロビー等での室内楽コンサートを開催する他、区民に対する音楽教室を実施する等、地域に密着した活動を行っている。



●荻窪音楽祭

【主催】「クラシック音楽を楽しむ街・荻窪」の会

【会場】杉並公会堂、荻窪駅北口広場、荻窪駅周辺の公共公益施設、公園、店舗等の多様な会場

【イベント概要】

クラシック音楽を通じて街の活性化を目的に春と秋の年 2 回開催。杉並公会堂や教会、路上など様々な場所でクラシックコンサートが開かれる。



- 文学

- ・井伏鱒二の「荻窪風土記」によると、大正 12 年の関東大震災の後、東京近郊の住宅地となった阿佐谷・荻窪の周辺は、出版社などがある都心に近く、安価で気軽に住めるという条件に当てはまっていたため、作家・芸術家、画家等の知識人が多く移り住み、荻窪の文化を形成していったと書かれている。
- ・現在でも、荻窪駅周辺には大田黒公園や角川庭園・すぎなみ詩歌館をはじめとする文学を感じられる施設が多く点在している。

【荻窪駅周辺に暮らした文化人】

	分野	居住地	活動内容
与謝野晶子	文学	南荻窪	歌人、作家。歌集「みだれ髪」や源氏物語の現代語訳など。桃井第二小学校の校歌を作词。与謝野鉄幹、与謝野晶子夫妻の家があった場所を買収して作られたのが南荻窪中央公園。
北原白秋	文学	阿佐谷	詩人、童謡作家、歌人。「明星」「スバル」などに詩歌を発表。数多くの詩歌、童謡を残している。
角川原義	—	荻窪	実業家、国文学者、俳人。角川書店の創設者。1949年角川文庫発刊。現在自宅は改修され角川庭園として公開されている。
棟方志功	美術	荻窪	版画家。ゴッホの絵画を見て感動し芸術家を目指す。文化学院で美術教師も務める。昭和 26 年から晩年まで荻窪に居住。
井伏鱒二	文学	清水	昭和 2 年に転居。作家。「山椒魚」、「黒い雨」、「荻窪風土記」等を執筆。荻窪風土記では戦前から作家、画家等の知識階層が多く住み、荻窪の文化が形成されていったことが書かれている。
川端康成	文学	阿佐谷	小説家。横光利一らと「文藝時代」を創刊。「伊豆の踊子」「雪国」など多数の作品を発表し、日本人で初となるノーベル文学賞を受賞。
三好達治	文学	天沼、東田町	詩人。萩原朔太郎に師事。「四季」、「文学界」などにかかわる。詩集「一点鐘」評論「萩原朔太郎」など執筆。古典派抒情詩人として活躍。阿佐ヶ谷会のメンバー
阿部知二	文学	南荻窪	小説家、英文学者、翻訳家。「白鯨」を初めて訳し、代表作となる。シャーロックホームズシリーズの訳者としても知られる。
大田黒元雄	音楽	荻窪	音楽評論家。日本の音楽評論の草分けとして知られる。「バッハよりシェーンベルヒ」という著書の中で、日本で知られていなかった多くの作曲家を紹介した。自らもピアノを演奏。荻窪の自邸の大部分が「大田黒公園」となった。仕事場は「記念館」として保存されている。
石井桃子	文学	荻窪	児童文学作家、翻訳家。「くまのプーさん」「ピーターラビットのおはなし」などの翻訳、「ノンちゃん雲に乗る」「三月ひなのつき」などの児童文学の創作を行った。井伏鱒二や阿佐ヶ谷文士会との交流もあった。杉並区名誉区民。
太宰治	文学	天沼	小説家。「走れメロス」、「斜陽」、「人間失格」など執筆。井伏鱒二に弟子入り。阿佐ヶ谷会のメンバー。
松本清張	文学	高井戸	小説家、犯罪の動機を重視する作風の推理小説で知られている。「点と線」、「砂の器」など。1961年に杉並区高井戸に転居。直木賞の選考委員も務める。
前田寛治	美術	天沼	洋画家。33歳の若さで早世し、10年に満たない活動期間であったが当時の芸術家に多大な影響を与えた。1922年から1925年までフランスに滞在し、パリの美術学校アカデミー・ド・ラ・グラン・ショーミエールに籍を置いてクールベの写実主義を研究する1928年に天沼二アトリエ兼自宅を建てて前田写実研究所を開設。
谷川俊太郎	文学	—	詩人、翻訳家、絵本作家、脚本家。多数の詩集、絵本を出版。「スイー」「マザーグースの歌」などの翻訳も手がける。「谷川俊太郎詩集」に杉並の風景が描かれている。
ねじめ正一	文学	高円寺	小説・詩集・エッセイ・児童書・作詞。阿佐ヶ谷パール商店街で民芸店「ねじめ民芸店」を営む。小説「高円寺純情商店街」は主に乾物屋を営んでいた実家のエピソードを描いたもの。

【荻窪駅周辺の文学が感じられる施設】

●大田黒公園

音楽評論家の大田黒元雄自邸跡地につくられたもので、回遊式日本庭園となっている。園内は趣のある静かな佇まいで、茶室や、記念館（大田黒氏の仕事場を保存、愛用のピアノが展示されている）、筑波石と植込みで飾られた池もあり、ほとりにはあずまやが建っている。



●角川庭園・すぎなみ詩歌館

角川書店（現・角川グループホールディングス）創設者で、俳人・国文学者の角川源義（げんよし、1917-1975）の邸宅を、外観を可能な限り創建当時の姿に復元したもので、ウメ、サツキ、サルスベリなど季節の花を楽しむことができ、庭園は公園として開放されている。



●読書の森公園

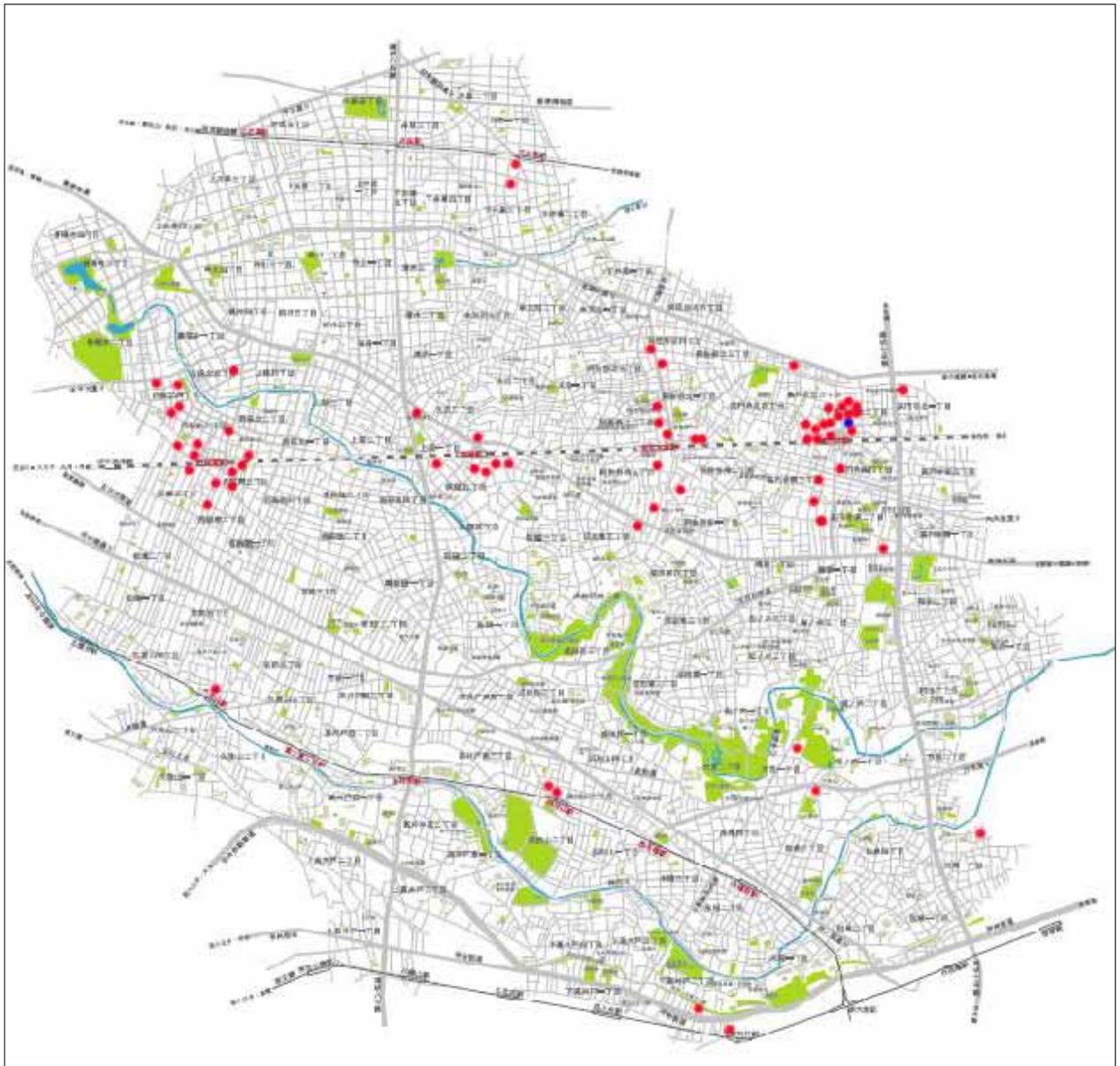
区立中央図書館の横に2004年春に開園した。園内の芝部やベンチ、あずまや等は読書をするのに適している。また、井伏鱒二をはじめ、谷川俊太郎、石井桃子、北原白秋といった杉並区ゆかりの作家にちなんだ本型のモニュメントが設置されている。



※すぎなみ学倶楽部ホームページ、荻窪ナビホームページより引用

- ・杉並区内には古書店が多く、全国2位の古書店数を誇る。古書店は中央線沿線の駅周辺に分布しており、駅ごとに特徴がみられる。高円寺は、老舗、古書とカフェ、古書と朗読会など老舗と新感覚の店が混在している地域。阿佐谷は中杉通りを中心に、こだわりのある品ぞろえと味のある店主が魅力の古書店が集まる地域。西荻窪は住宅街の中に隠れたレトロな古書店が点在する地域。荻窪駅周辺は、大型店舗や大量流通の店舗があるが、その一方で学術書や全集物の専門店といった希少な古書店に出会える地域でもある。

【古書店の分布】

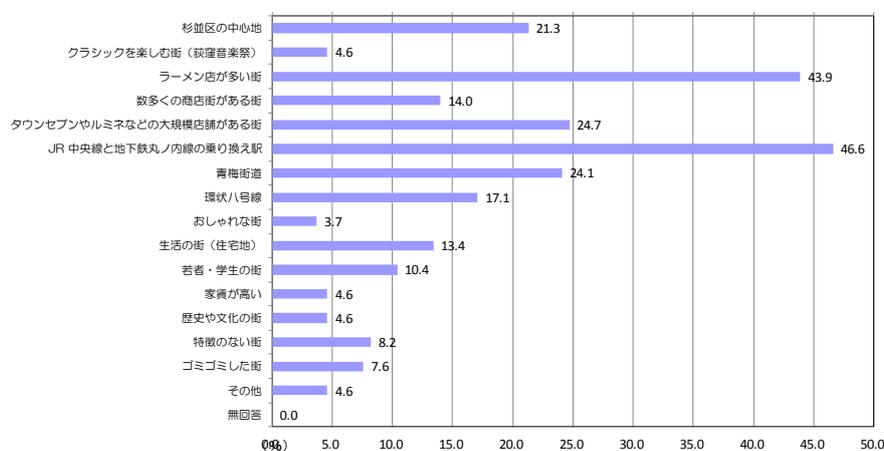


※すぎなみ学倶楽部ホームページより引用

## 《アンケート結果》

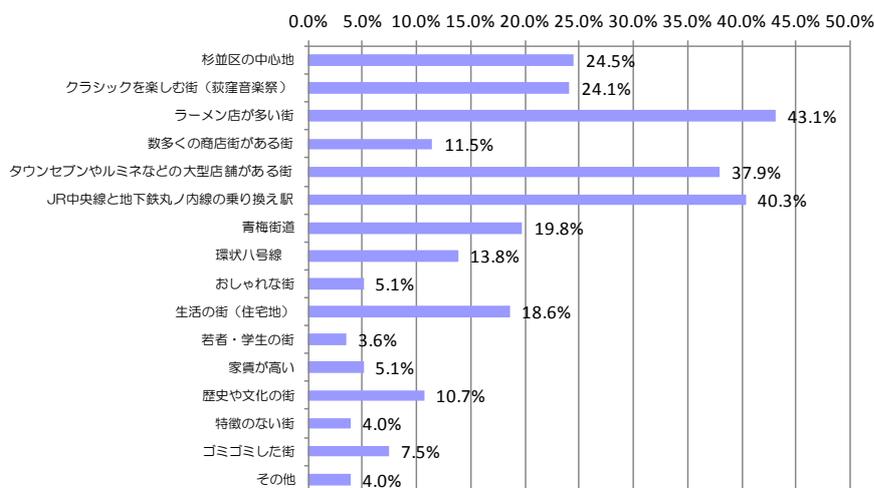
- ・今回の来街者アンケート及びWebアンケートにおいて、「荻窪駅と聞いて連想できること」という問いに対し、両アンケートとも「ラーメン店が多い街」が最も多かった。特にWebアンケートでは、その他の回答との差が大きく、広く「荻窪＝ラーメンの街」のイメージが定着していることがわかる。
- ・「クラシックを楽しむ街」という回答は、比較的荻窪駅になじみのある方を対象とした来街者アンケートでは回答数が多いが、Webアンケートでは少なく、地区外の人にはあまり周知されていないことがわかる。

### ◇「荻窪駅」と聞いて連想すること（Webアンケートより）



※複数回答（回答者数 167 人）

### ◇「荻窪駅」と聞いて連想すること（来街者アンケートより）



※複数回答（回答者数 253 人）

## ② スポーツ・レクリエーション

### 《スポーツ・レクリエーション施設》

- ・地区内の屋内運動場は荻窪体育館のみで、屋内のスポーツ施設は少ないが、杉並区内の小中学校の体育館やプールが夕方以降に一般に開放されている。
- ・荻窪体育館ではフィットネスや体操、チアリーディング等の多様なスポーツ教室が開催されており、区民が気軽にスポーツを体験できるような取り組みを行っているが、高齢者を対象としたスポーツ教室等は少ない。
- ・対象地区南側に隣接する善福寺川緑地は、善福寺川に沿った全長約 4.2km の公園で、ウォーキング等の日常的な運動に適した公園となっており、高齢化対策を目的としたウォーキングを推進する NPO 法人のウォーキングコースのひとつとなっている。
- ・また、杉並区では、まちなかを歩く「知る区ロード」や「区民歩こう会」を開催し、地域についての知識を深めながら健康を促進する取り組みも行われている。

【荻窪駅周辺のスポーツ施設】

名称		所在地	施設概要							
			バスケットボール	バレーボール	野球	バドミントン	卓球	テニス	その他	プール
対象地区内	荻窪体育館	荻窪3丁目47番2号	1面	2面	—	4面	16台	—	武道場、小体育館	—
	関根文化公園プール	上荻4丁目2番6号	—	—	—	—	—	—	—	20m、幼児用
対象地区周辺	福寺川緑地	杉並区成田東二・三・四丁目、成田西一・三・四丁目、荻窪一丁目	—	—	2面	—	—	3面	—	—